

合併当初より有家町に
庁舎を建てる計画が
あったが、どうなっ
ているのか

市長 現段階では具
体的な計画はない。



中村 哲康 議員

市道の安全管理について

議員 子供の飛び出しに

よる人身事故が発生して
いる箇所に道路標識等の
設置が必要だと思うが、
どのような対策を講じて
いるのか。

建設部長 道路に設置さ

れている道路標識や案内板
については、道路管理者と
して国や県または市が設置
した標識となる。それに併
せて道路交通管理者である
長崎県公安委員会が設置
した標識となる。ところで
も、道路パトロールや業務
中に気づいた際には、それ

ぞれの標識管理者に報告を
している。

議員 市道の改良工事に

ついて、島田下藤原線と
尾崎松平線の進捗状況は。

建設部長 市道島田下藤

原線、尾崎松平線の要望
をいただいで、もう5年
から10年で、対応できて
いない路線になる。路線
の整備に伴う一番適した
財源を活用して整備を
行っているが、まだ至っ
てないので申し訳ない
と思っている。その間で、
当面通行を容易にするよ
うな箇所の整備について
は、生活環境整備事業を
用いながら、地域と一緒
に部分的な改良を進めて
いるところであるが、市
道維持工事と生活環境整
備事業となると、その用
地については寄附となっ
ているので、地権者の御
理解が、一定のスタート
となる。

河川の浚渫について

議員 緊急浚渫推進事業

を活用した河川の浚渫に
ついて、令和6年度まで

に計画している31河川全
て完了できるのか。

建設部長 市が計画して

いる31河川は、6年度末
をもって完了するように
努めていく。

防災減災対策について

議員 緊急自然災害防止

対策事業などを活用し、
防災減災に積極的に取り
組むことが重要だと思っ
が、いかがお考えか。

総務部長 緊急自然災害

防止対策事業債を活用し
て計画的に防災事業を
行っているところである。



普通河川 榎田川 / 平時



普通河川 榎田川 / 増水時



質問の様子を
動画で見よう

「脱炭素」も「SDGs」も
本市の実情に則した
対策を

市長 有効な具体策
を検討計画する。



隈部 和久 議員

ゼロカーボンシティ 宣言について

議員 本市に設置されて

いる、メガソーラー発電
について、国の固定買い
取り期限の20年を経過し
た後の処分、撤去等に関
して、発電事業者との間
で何らかの取り決めがあ
るのか。

環境水道部長 国において、

本年4月、再エネ特措法
の改正を行い、不法投棄
防止の為、10kw以上の発
電事業者は、10年間、一
定額を積み立てなければ
ならなくなった。

議員 パネルには、有害

物質が含まれている。
さらに将来、撤去せず放
置したままになっても発
電し続けるという危険性
も懸念されている。注視
してもらいたい。
次に「ゼロカーボンシ
ティ宣言」に関し、国か
らの補助はあるのか。
環境水道部長 脱炭素の基
本計画に基づいて、様々
な補助事業がある。
議員 私は、SDGsや
脱炭素には懐疑的な所も
あると思っているが、本
市の議員として、活用で
きる補助事業は利用すべ
きと考える。特に、農林
水産業において、耕作放
棄地や山林の整備活用、
藻場の再生等の、本市の
課題解消の大きな一助と
なるような活用策を検討
すべきである。

市長 そのような案も含

めて、本市に合った有効
な活用の具体策を考えて
計画に盛り込んでいく。

議員 さらに、本市独自

の再生エネルギーの可能
性として、口之津早崎瀬
戸の潮力発電に関し、現

在、研究会が発足されて
いる。国内でも有数の潮
流の速さを誇る、この本
市の自然の財産を、是非
とも有効活用し、将来の
雇用にも寄与できるよう
積極的に研究会に参画し
ていくべきである。

市長 本市の地の利を活

かせる研究であり、前向
きに関わっていきたい。

議員 再エネの中では最

も安定した発電方法であ
り、環境負荷も少なく、
海外でも研究開発が進ん
でいるこの技術が、本市
の未来の希望になり得る
よう、本気で取り組んで
もらいたい。



早崎瀬戸のうず潮



質問の様子を
動画で見よう